

平成 22 年度  
牛乳栄養学術研究会委託研究報告書

Annual Study Reports on Milk Nutrition  
Sponsored by Japan Dairy Association 2010

平成 23 年 10 月

社団法人 日本酪農乳業協会

## はじめに

当協会は、昭和61年（1986年）以来、医歯薬学、栄養学、スポーツ科学、食品科学、農学などの専門家から牛乳・乳製品と健康との関連について学術的な研究テーマを募集し、研究・調査を委託、実施してきました。

今回、平成22年度に報告のあった委託研究の成果（14題）について、牛乳栄養学術研究会委託研究報告書として取りまとめました。

牛乳・乳製品の新たな三次機能や疫学的調査研究等のエビデンスを得ることが出来ました。

この報告書が、関係者のご参考となり、牛乳・乳製品に関する学術研究の発展および消費拡大に寄与できれば幸いに存じます。

おわりに当たり、本研究に鋭意取り組まれ報告頂いた諸先生方には、心からの謝意を表します。

社団法人 日本酪農乳業協会

# 目 次

1. 妊娠中の母親の食事パターンと生まれた子のアレルギー発症との関連  
——大阪母子保健研究  
福岡大学医学部衛生・公衆衛生学 三宅吉博…………… 1
2. 牛乳極性脂質の脂質代謝に及ぼす影響  
北海道大学大学院水産科学研究院 宮下和夫…………… 11
3. 牛乳に含まれるアディポサイトカインの定量と機能探索  
三重大大学院生物資源学研究科 青木直人…………… 27
4. ランダム化比較試験によるカルシウムの骨粗鬆症予防効果の解明  
新潟大学大学院医歯学総合研究科地域予防医学講座 中村和利…………… 45  
新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科 斎藤トシ子  
新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科 小林量作  
押木利英子
5. Th17 細胞機能に及ぼす牛乳・乳発酵食品摂取の影響  
広島大学大学院生物圏科学研究科 田辺創一…………… 57
6. 小児期における牛乳に対する免疫応答の適切評価ならびに特異的経口免疫療法が  
牛乳乳製品摂取および成長発達に与える影響  
浜松医科大学小児科学教室 大関武彦…………… 69  
福家辰樹
7. 高リン食起因の腎機能障害リスクを軽減するホエータンパク質の効果の検討  
東京大学大学院農学生命科学研究科 中井雄治…………… 89  
林ちひろ
8. 牛乳由来の新しい精神的ストレス緩和ペプチドの作用機構に関する研究  
京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻 大日向耕作……………101  
大学院生 金川典正  
宮本知京
9. 乳成分による肥満モデルマウスのインスリン抵抗性改善効果に関する研究  
大妻女子大学家政学部 青江誠一郎……………113

10. ストレス誘導アレルギー性腸炎モデルにおける発酵乳酸菌の抑制効果  
 東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻 戸 塚 護 ……………135
11. 牛乳摂取が食後血糖及び食事誘発性熱産生(DIT)に与える影響に関する研究  
 神奈川県立保健福祉大学 中 村 丁 次 ……………167  
 小 栗 靖 生  
 林 純 平  
 川 口 祐 美  
 柏 絵 理 子  
 倉 貫 早 智
12. アジュバント的媒体としての乳機能の探索と開発  
 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻 谷 史 人 ……………195
13. アドヘシン酵素の網羅解析と酵素活性を指標とした  
 高腸管付着性乳酸菌の新規スクリーニング法の確立  
 宮城大学食産業学部 木 下 英 樹 ……………217
14. パーソナリティ特性から見た牛乳摂取習慣  
 人間総合科学大学人間科学部 藤 城 有 美 子 ……………235  
 (現在：駒沢女子大学人文学部)  
 秋田大学教育文化学部 北 島 正 人  
 東京未来大学こども心理学部 山 極 和 佳  
 埼玉学園大学人間学部 平 部 正 樹  
 川崎市総合教育センター滝山相談室 陶 山 大 輔  
 人間総合科学大学人間科学部 桑 田 有